

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 山崎 薫里	(学部) 経済学部
1 重要事項	
1-1. 研究	
● 論文 “Kaori Yamazaki, Monotone countable paracompactness and maps to ordered topological vector spaces” の査読つき学術雑誌 “Topology and its Applications (Elsevier)” への掲載が決定し、校正を行った。単調可算パラコンパクトという位相的性質を実数値関数で特徴づける先行研究に対し、「実数値」を「ある種の順序の入ったベクトル空間」に拡張するものである。 ● 2 つの半連続写像への挿入定理に関し研究を進め、いくつかの小さい結果を得た。学術論文としてまとめるべく、来年度以降、得られた結果の改良を試みたい。	
1-2. 教育	
● 担当授業：「微積分入門」「微積分」「線形代数入門」「線形代数」「経済・経営のための数学 b1」において、板書・プリント等の工夫を行い、習熟度の異なる学生それぞれの理解度を高めるように努めた。「演習」「基礎演習」において、ゼミ指導を行った。特に「演習 II」については、所属する 4 年生 9 名全員が卒論を提出することができた。 ● 担当授業以外：学生からの数学関係の授業の質問に答えた。また、他大学の大学院入試や学部編入試験の過去問、公務員試験の数理分野の問題への質問に答えた。その他、学生からの学習相談を受け、数学の学習方法についてアドバイスした。	
1-3. 社会貢献	
● 高崎経済大学附属高校で出前授業を行った。	
1-4. 学内業務	
● 教養教育委員長として、教養教育カリキュラム全般の調整を行った。 ● 情報基盤センター長を 2 月初旬より務めた。 ● カリキュラム等検討委員会の委員として、主に教養科目の数理分野の新カリキュラムの検討を行った。特に、現在の単一レベルで開講されている数学のカリキュラムの問題点を精査し、様々な基礎力に対応した段階履修を可能にする新カリキュラムの原案を作成した。次年度以降、その効果や問題点を検証したい。 ● 教養科目の数理分野担当の非常勤講師のコーディネートや連絡業務を行った。 ● 学生相談室相談員を務めた。	
2 その他の事項	
なし	